

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2019年4月1日

日蓮正宗 年間方針

## 勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

### 人材育成

### 勇猛果敢の折伏

### 年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

### 誓願達成

### 罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

### 異体同心の团结

### 折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

### 心身浄化

### 功德无量



2019年3月10日の御報恩御講の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日蓮上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

## ① 講中のみなさまへ

私たちは凡夫である限り、大切な人を失うことによって大きな嘆きの心がおきます。また故人との距離によって「死」の受け止め方は異なります。大聖人は、妙法への信心を持つならば即身成仏を疑わず、むやみに嘆いてはならないとご教示です。即身成仏の功德は妙法の国での再会が約束され、回向の功德を積む人の胸の中に生き続けるからです。私たちの生命が死後においても自由自在なのか地獄などに縛られるかは、妙法への信と仏道修行の在り方によって左右します。仏の説く妙法という真理を信じ、説の如く修行をなすかどうかによって行き先が分かれるのです。勤行、唱題、折伏が自身の罪障消滅と家族の成仏に直結していることを知り、素直な信心を藍の色のように積み重ねてまいりましょう。

## ② 創価学会に籍を置くみなさまへ (前号の続き)

平成2年暮れに発覚した第2次池田問題により、宗門は同年12月27日に宗会を開き、「日蓮正宗宗規」の一部改正を行ない、これにより池田をはじめとする総講頭・大講頭は、その資格を一時的に喪失しました。すると創価学会は全組織を挙げて御法主上人や宗門への誹謗・中傷、いやがらせを開始し、日蓮正宗の信仰の命脈である下種三宝や血脈相伝の否定をなし、友人葬と称する葬儀を執行するなど、日蓮正宗の化儀・化法から大きく逸脱する独立路線を進めていったのです。これに対し宗門は訓戒を重ねましたが、創価学会はこれを聞きいれず誹謗を繰り返したため、平成3年11月7日の「解散勧告」をなすに至るのです。破門に至る経緯を知り、正しい日蓮正宗の信仰に身を置くため、ここ法遍寺をお訪ねください。(続きは次号)

## ③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

宗派は別でも宗教の目的は同じだから、どの宗派でもよいのだ、と主張する人がいます。しかし、各宗派の教義を見ると、教主も本尊も修行も教典も、それぞれ全く異なります。キリスト教、イスラム教、儒教、仏教、そして仏教といっても小乗教、大乘教、さらにその大乘教にも所依の経典が異なり、教主や教義、修行や目的が異なります。つまり仏教といっても、そこにある「仏の心」が違うのです。もしあなたが、宗教の目的は救済だからどれも同じだというならば、それはあなたも「学校はすべて教育を目的にしているのだから、学校と名のつく所は皆同じだ」と言っているのと同様になるのです。宗教の選択が人間の幸・不幸に直結する問題であることを知れば粗雑な判断はできません。宗教に対する正しい判定基準を知って頂くためにも、ここ法遍寺をお訪ねください。

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

### 相談無料